

■ 議題

今回の番組審議委員会は、毎週土曜日午前7時～放送の早藤直喜ナビゲーター担当番組『ヒッツ・ハッピー・ステーション』より、4月7日（土）放送の「初回オープニングトーク」と、毎週月～水曜日午後4時～放送の井谷麻希ナビゲーター担当番組『ヒッツ・サンセット・ヴォックス』内で放送した「小屋垣内農園 イチゴ狩りについてのインタビュー」、さらに 春の高山祭特別番組『ポジティブ・ステップ』（サテライト放送）で、遠藤尚美&田中曜子の両ナビゲーターが担当した4月15日（日）午前10時～12時内で放送した「からくり屋台 龍神台の関係者への事前インタビュー」を聴いて審議に入った。

■ 審議内容

会社側： 審議に入る前に、前回の番組審議委員会での意見に対しての回答、報告、今後の放送予定、聴取した番組の補足などを説明した。

大萱委員長： 只今、聴取した内容についてでもよいし、普段聴いている放送についてでもよいので、順次、意見ををお願いしたい。

蒲生委員： 高山国道事務所との協定については、今後も情報発信に努めていきたいと思うので、協力をお願いしたい。

「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、少し緊張気味で、ぎこちない話し方が気になった。これは初日なので仕方がないと思うが、声質が籠っていて、少し聴き取り難いのかなと感じたので、今後、話し方を工夫すると良いと思う。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、農園の方の話を上手く引き出していたと思う。農園の方の説明もとても分かりやすく、イチゴ狩りに行ってみたいくなるインタビューだった。

「からくり練習のインタビュー」は、お囃子を奏でる子ども達が、一生懸命練習に取り組んでいる表情が見えるようで、とても良かった。

大萱委員長： 「小屋垣内農園のインタビュー」は、本当にテンポが良く聴きやすかった。

野中委員： （高山警察署 高木委員の代理）行方不明者発見の件では、地域密着の強みを感じ、大変ありがたく感じた。

野中委員： 「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、やはり緊張していると感じた。所々、言葉に詰まったり、声が籠って聴こえる点もあるが、ゆっくり、はっきり話そうとする姿勢が感じられ好感が持てた。出身が高山で無い私は今、高山の人の温かさをとても感じている。早藤ナビゲーターも可児市出身ということなので、他所から来た者だからこそ分かることを伝えてもらおうと、高山の人にも地元の新たな発見があるのではないかと思った。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、やはり新人に比べ話が上手だと思った。ただ、前フリが短く、いきなりインタビューが始まった印象を受けた。また、インタビューの途中でビニールハウス内の描写があったが、初めに様子が分かったほうが、聴き手としては情景を頭に浮かべながらインタビューが聴けるので良いと思った。

高山祭のサテライト放送については、ナビゲーター2人体制の進行が、普段と違った感じで、また賑やかさもより良かった。ただ時々、2人の声が重なる部分があり、話が分かり辛いところもあった。

「からくり練習のインタビュー」は、背後の音が気になった。

大萱委員長： 「からくり練習のインタビュー」は、練習場で録っている関係上、背後の音が入ってしまっているのだと思うが、今後はその辺りも気を付けて録音して欲しい。

また2人以上でしゃべる場合、声が重なると聴き辛いのは確かだが、賑やかになるという点では2人体制はとても良いと思うので、お互いにタイミングを計るなど腕を上げて行って欲しい。

挾土委員： 「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、6時間を担当するプレッシャーもあったと思うが、嫌味の無い、好感の持てる声だと思った。話すスピードについては、「慌てないで！」と心配しながら聴く感じだったが、デビュー戦としては、上出来だと思う。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、もし実際にイチゴを食べられたのであれば、味の評価があると良かった。また、先程の意見にもあったように、インタビューの初めに現場の光景を伝えることが大切だと思った。

「からくり練習のインタビュー」は、女の子の話が非常に分かり辛かったが、田中ナビゲーターが女の子の言葉を繰り返し伝えていたので良かったと思う。

大萱委員長： 「小屋垣内農園のインタビュー」の中で、井谷ナビゲーターが「いただきました。」と言っていた気がするが、私もさらりと過ぎた感じを受けたので、確かに自分の食べた感想がもう少しあっても良かったと思う。

大萱委員長：子どものインタビューは本当に難しいと思うが、言葉を繰り返し伝えるなどフォローがやはり大事だと思う。繰り返しのフォローについては、以前より審議委員会で意見が出ており、今回のインタビューではそれを実践してもらっていると感じた。

川原委員：「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、時々、言葉に詰まる部分もあったが、大体はゆっくり、はっきり、一言一言丁寧に話している感じがあり良かった。ただ、自己紹介の中で、自分のことを「ぼく」と言っており、それはキャラクターとして使用しているのかもしれないが、ビジネスシーンでは男性でも「わたくし」や「わたし」と言うので、どちらが良いのか、また正しいのか、私には分からないが、そこが気になった。

「小屋垣内農園のインタビュー」については、先程も意見にあったが、唐突に始まった感じがした。インタビューの内容としては、味の特徴や営業時間など、とても明確に伝えており、私もイチゴ狩りに行ってみたくなった。

「からくり練習のインタビュー」は、子どもの声の聴き取り難いところを繰り返し伝えていて、とても分かりやすかった。また、子どもに対するインタビューの仕方も優しくて好感が持てた。頑張っている子どもたちの姿が伝わってくる良いインタビュー内容だった。

大萱委員長：「ぼく」、「わたし」の使用について、ヒッツFMでは決まりは無いのか？

会社側：早藤ナビゲーターのキャラクターが、どちらかという「ぼく」と言うタイプだと受け止めたので、「ぼく」でも良いのかなと思う。

大萱委員長：キャラクターということであれば、「ぼく」と言うのも特に問題無いと思うし、そのようなキャラクターでどんどん売り出していても良いと思う。

「小屋垣内農園のインタビュー」がいきなり始まっていることに関しては、やはり耳（心）の準備があるので、本題に入る前に多少の間が必要だと思う。それを逆手に取って、ビックリさせて印象付けるということもあると思うが、今回は？

会社側：今回、試聴したインタビューは、時間の都合上、前フリを割愛した。元々は本題の前に、状況の説明など2人のやり取りがあった。報告が怠り申し訳ない。

山田委員：（飛騨信用組合 田口委員の代理）「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、デビュー初日にも関わらず、その落ち着いたしゃべりっぷりは素晴らしいと思った。声が籠り、聴き難い部分もあったが、追々直っていくと思う。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、話の流れも良く、農園内の光景が頭に浮かぶような素晴らしい内容だった。

「からくり練習のインタビュー」は、子どもへのインタビューは丁寧だったが、背景に大人の声が入らなければ、もっと良かった。

田中委員：「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、初めてとは思えないくらい上手に話していると思ったが、プロのナビゲーターとして他のナビゲーターと比べると、やはりまだ初々しさがある。今後に期待したい。数少ない男性ナビゲーターで、さらに高山出身では無いということなので、違う視点で新しいコーナーなどを見いだすと良いと思う。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、せっかく現場に出向いたのなら、もう少し現場の雰囲気などを話しても良かったと思う。また、イチゴを食べた感想ももう少し聴きたかった。

「からくり練習のインタビュー」は、屋台を受け継いでいく子どもにとってもインタビューを受けたことが良い思い出になったと思う。試聴した内容がインタビューの一部分だけだったのかもしれないが、龍神台のからくりのストーリーなど、もっと詳しい紹介があると良かった。

大萱委員長：過去に番組審議委員会が出た意見を取り上げていただいた企画や、また番組の内容についても随分掘り下げられていると思う。また、委員の皆さんもそれを感じている。それでもまた、次々と意見が出てくると思うが、新企画も含め、ぜひ内容を追求して行って欲しい。

原委員：「早藤ナビゲーターのオープニングトーク」は、新人の初々しさもあり、言葉を正確に話そうという姿勢もみられ、これからが期待できると思う。ただ、滑舌にもう少し気を配り、言葉を正確にゆっくり話すということを中心けると、聴きやすい放送になると思う。頑張ってもらいたい。また、高山に来て半年しか経っていないということなので、ずっと高山に住んでいる我々には気付かないような高山の魅力や印象を新鮮な視点で見つけてほしい。取材などにも積極的に出掛け、地域の色々なことや方言を覚え、高山での生活を堪能しつつ、放送に活かしてほしい。

「小屋垣内農園のインタビュー」は、井谷ナビゲーターの「さすがベテラン！」という進行で、声も耳に入りやすく、話の内容も本当に分かりやすかった。先程も意見にあったが、放送を聴いて「イチゴ狩りにいつ行けるかなあ。」という気分にもなった。

原委員：今回、早藤ナビゲーターのデビュートークを試聴し、そのあと「からくり練習のインタビュー」を試聴していて、田中ナビゲーターがデビューした時のことを思い出した。田中ナビゲーターがデビューした頃は、結構言葉に詰まることが多くて、番組審議委員会の場でもその点について意見したと思うが、今回のインタビューはデビュー時と比べ、滑らかなしゃべりで非常に聴きやすかった。また、子どもとのやり取りの中では、フォローも出来ていて、本当に上手くなってきたなと感じた。ただ、やはり早口過ぎるということを今回も感じたので、ゆっくりしゃべってもらったほうが聴きやすいと思った。

4月にタイムテーブルが変わり、新しいコーナーもあるようなので、「何曜日の何時に〇〇コーナーがありますよ」ということを、自分の番組中だけで紹介するのではなく、曜日を超えて、ナビゲーター同士で紹介し合うと、他の時間もちょっと聴いてみようかなという気になり、多くの時間でヒッツFMを聴いてもらえるようになると思う。

大萱委員長：各ナビゲーターが担当以外の番組について情報発信することは、新コーナーが増える改編時期には有効だと思うので、ぜひ検討して欲しい。早藤ナビゲーターは、新人にしては本当に落ち着いている感じがする。ただ、意見が出たように、やはり少し声が籠るのかなという印象を持った。ラジオを通した場合、かなりボリュームを上げて聴かないと、度々話している内容が分からないところがあった。静かな所で聴けば聴こえるのかもしれないが、車を運転していたり、何か他のことをしながら聴いていると、聴き取り難いと感じた。ただ、生まれ持った声質は変えられないので、滑舌を研究するなどして、練習して欲しい。ぜひ良いナビゲーターになってもらいたいと思う。会社側からは何か意見・報告はないか。

会社側：本日の審議委員会に早藤を出席させる予定だったが、研修のため欠席となった。1～2ヶ月前より週1回、名古屋へ行き、ZIP-FMに關係のある方が講師を務めているボイストレーニングを受けている。ヒッツFM入社前より本人が希望していたことで、自費で研修を受けている。早藤の放送に関しては、デビュー間もないため、今は曲の紹介をしたり、何か話題を取り上げるということはせず、基本的な内容（インフォメーション、ニュース・天気予報・高山市からのお知らせなど）を中心に放送している。高山国道事務所及び高山警察署からの、日頃の情報提供に感謝している。これからも情報発信をお願いしたい。

大萱委員長：ぜひこれからも色々な情報をヒッツFMに提供するようお願いしたい。
早藤ナビゲーターは、向上心を持って勉強中とのことなので、どのように成長するのか楽しみにしたい。
他に意見が無ければ閉会する。

会社側：本日は貴重な意見を頂き感謝している。ますます番組に反映したいと思う。

■審議機関の答申又は、意見の概要を公表した場合における公表内容、方法年月日

4月24日 番組審議委員会の席上で説明

■その他の参考事項

次回開催日 平成30年6月下旬（予定）

開催場所 飛騨地域地場産業振興センター（予定）